

コースの概要と人材養成のねらい

教員集団をリードし、保護者、地域住民等と協働して、学校及び地域の新しい教育課題を解決するために求められる優れたリーダーシップを発揮できる教員を養成します。そのため、一定の経験を持つ現職教員に、これまでの教職経験で培った実践的知見と先進的な教育研究に基づく理論的な知見を統合させ、学校経営の中心的役割を担うために必要な実践力を体得させます。

配当年次	開講期	(DP1) 学校教育の発展的理解	(DP2) 指導内容の高度な理解と実践的指導力	(DP3) 多様な子どもに対応できる指導力	(DP4) 教職力量をみがく力
		<ul style="list-style-type: none"> <li>社会における学校の役割と望ましい専門職としての教員の在り方を理解し、それを踏まえたキャリアプランを策定できる。</li> <li>学校安全と危機管理、人権教育、健康教育、子どもの貧困と児童虐待、社会的包摂などの今日的な教育課題について理解し、それを応じた実践を計画・実施できる。</li> <li>学校の実情や特徴を踏まえた経営計画を策定できる。</li> <li>学校づくり求められるリーダーの役割と行動を理解し、それを所属組織の状況に応じて発揮できる。</li> <li>エビデンスに基づいて学校改革を推進する理法と技法を会得し、それを発揮できる。</li> <li>学校組織の成長をデザインし、それに必要とされる戦略を構想・実行できる〔管理職〕。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育課程編成の今日的課題やカリキュラム・マネジメントの理論を理解し、それを踏まえた実践を推進できる。</li> <li>各学校の実情を踏まえて、当該校の教育課程全体を編成できる。</li> <li>教科等の授業の多様性や今日的な在り方を理解し、それらに応じた授業を計画したり、そのための教材を準備したり、その指導と評価を工夫したりできる。</li> <li>グローバル教育の理念や枠組み、動向を把握し、そのプログラムを開発できる。〔グローバル〕</li> <li>教育の情報化に応じた指導とカリキュラムについて、その理念や枠組み、動向を把握し、それを推進するためのプランを策定し、実行できる。〔メディア・情報リテラシー〕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校種の生徒指導上の問題のメカニズムや多様性を理解し、理論的・実践的に解釈できる。</li> <li>各学校種の生徒指導上の諸課題に関して、発達段階や状況に応じた指導ができる。</li> <li>各児童生徒の生徒指導上の諸課題に対し、適切な指導方法を選択して他の教員へ指導・助言ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育実践を研究的に展開するための視点と方法を会得している。</li> <li>教育実践者としての自己を省察するとともに、他の教員との学びあいの中で教員の資質能力の向上をリードすることができる。</li> <li>組織としての学校やその基本単位としての学校の在り方を理解し、地域・保護者・他機関との関係の構築を進めることができる。</li> <li>学校における教員間の連携や協力の理念や枠組み、動向を把握し、それを進展させるための実践を創発できる。〔実践的リーダー〕</li> <li>教育委員会指導主事として、学校に対して繰り広げるコンサルテーションに関して、その理念や枠組み、動向を把握し、それを進展させるための実践を創発できる。〔教育委員会指導主事〕</li> </ul>
M2	4セメスター	<ul style="list-style-type: none"> <li>エビデンスベースの学校改革[2]</li> <li>学校安全と危機管理[2]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権教育の課題と実践[2]</li> <li>外国にルーツのある子どもの教育III[2]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会的包摂のための諸施設に関する実践的探究[2]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実践的リーダープログラム<sub>2</sub>*3科目</li> <li>教育委員会指導主事プログラム<sub>2</sub>*3科目</li> <li>実践課題研究Ⅰ・Ⅱ[計4]</li> <li>学校実習科目[計10]</li> <li>教師力と学校力(教師力・学校力・スクールコンプライアンス)[2]</li> </ul>
	3セメスター		<ul style="list-style-type: none"> <li>海外の学校改革に学ぶ[2]</li> </ul>		
M1	2セメスター	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康教育の理解と実践[2]</li> <li>外国にルーツのある子どもの教育II[2]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カリキュラム・マネジメントの理論と実践[2]</li> <li>学習指導の実践的展開[2]</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>教育研究方法演習[2]</li> </ul>
	1セメスター	<ul style="list-style-type: none"> <li>スクールリーダーシップの理論と実践[2]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育課程編成の今日的課題[2]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの貧困及び児童虐待の理解と教育実践[2]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導と教育相談の実践的課題[2]</li> <li>学校経営と学級経営の理論と実践[2]</li> </ul>

研究科共通科目  
太字は必修

コース科目  
必修

コース科目  
プログラム科目

天王寺キャンパス  
開講教科関係科目

※天王寺キャンパス  
開講教科関係科目、  
学校実習科目の詳細  
は、科目表参照。

※科目名の[ ]内の  
数字は単位数